

やまめ

153号

五木村議会だより 2025.10.31発行



- 義務教育学校「五木学園」と名称決まる（6月定例会） P2～3
- 一般会計補正予算 1 億 2,340 万 8 千円決まる（9月定例会） P5～6
- 八尋 恵さん（村人インタビュー） P11
- 議員紹介 P12

「五木学園」と義務教育 学校の名称が決まる

6月
定例会

令和7年6月10日から12日までの3日間、村の重要な方針を決定する第2回の定例議会(※①)が開催されました。

村長から提出された報告2件、承認2件、そして議案13件の合計17件すべてが、出席した議員全員の賛成で可決・承認されました。

* 主な決定事項 *

(1) 新しい学校の名称が「五木学園」に！

令和8年4月に開校が予定されている小中一貫の「義務教育学校」(※②)を設置するための条例が新たに制定されました。これに伴い、学校の正式名称が「五木学園」に決定しました。

(2) 村長および教育長の給与が変わりました。

村の代表である村長と、教育部門の責任者である教育長の給与が、以下のように改定されました。

村 長 月額 774,000円

教育長 月額 573,000円

(3) 新教育委員の就任

村の教育に関する方針決定に関わる教育委員として、新たに松井 恵美さんが就任することに議会が同意しました。

* 今後の審議事項 *

准看護学院への支援に関する請願

人吉・球磨地域の医師会から、「地域の看護師を育てる准看護学院への支援をさらに強化してほしい」という請願(※③)が提出されましたので、これは専門的な内容を含むため、総務常任委員会で詳しく調査・審議されることになりました。

■用語説明 ※①定例議会…3月・6月・9月・12月に必ず行われる議会のこと

 ※②義務教育学校…小中学校を合わせた学校のこと

 ※③請願…議員の紹介による正式な要望のこと

一般質問（令和7年6月定例会）

西村久徳議員

「村の振興策は？」

村長 「振興計画を中心に振興を目指す」

議員 急速な過疎高齢化により集落消滅の危機感がある。村長の現状認識と今後の振興策は。

村長 担当課長 流水型ダムを前提とした「ひかり輝く新たな五木村振興計画」を推進し、基盤整備による企業誘致や雇用創出で不安を払拭したい。

議員 高齢者が安全安心に暮らせるモデル的な地域システムの構築や、防災・害獣の温床となる空き家の抜本的な対策は。

村長 担当課長 高齢者福祉については、買い物支援や介護施設の検討を進めている。空き家は調査済みであり、危険な物件は除去支援を、利用可能な物件は空き家バンク

制度を活用し移住定住に繋げる。

議員 村の基幹産業である林業の将来的な見通しと、若者にとって魅力ある仕事にするための方策は。

村長 担当課長 林業は国の施策と連携し、J-クレジットの活用や林業大学校との連携で担い手を育成し、村の財産である森林を守り活かす。

早田吉臣議員

「10年後を見据えた将来像と若者定住策は」

村長 「基盤整備を進め林大卒業生などの若者の定住を促進したい」

議員 村長の10年、20年後を見据えた村のグランドデザインや点在する集落の将来像や、若者世代を増やす具体策は。

村長 将来像として、心部への機能集約（コンパクトシティ）も視野に入れつつ、基盤整備を進め若者が働ける職場を創出したい。

議員 村営住宅の現代の生活様式に合わせた改修（リノベーション）や、林業大学校卒業生の村内就業を促す具体策は。

村長 村営住宅のリノベーションや定住促進に繋がる仕組みも検討課題としたい。また林業大学校については、機能拡充に期待しており、卒業生が定住できるよう村としてもしっかりと対応していく。



五木で学ぶ林業大学生

議員 行政座談会で出た意見や、参加できない住民の「声なき声」を政策に反映するためタブレットを活用しては。

村長 「声なき声」についてはタブレットの双方向通信機能の活用を検討する。

中村俊也議員

「アナグマやヤマビルへの対策は」

産業振興課長 「箱ワナへの補助やヤマビル対策を検討したい」

議員 農作物や家屋に被害を及ぼすアナグマ等の小型鳥獣について、現状と対策は。また狩猟免許を持たない高齢者でも対策ができるよう、箱ワナ

購入への補助の考えはないか。

産業振興課長 アナグマ等の小型鳥獣は狩猟免許を持つ駆除隊が対応しており、箱ワナの補助については今後、鳥獣被害防止対策協議会で検討する。

議員 住民に精神的苦痛を与えているヤマビルの駆除や、観光客への注意喚起は。

産業振興課長 ヤマビルの全村一斉駆除は困難だが、大滝公園で薬剤散布を試験的に実施しており、今後、公共施設での対策や注意喚起を検討する。

議員 枳形山の登山道の安全管理状況は。

産業振興課長 枳形山登山道は、シルバー人材センターによる入口の草払いや標識確認は行っているが、大々的な歩道整備は実施していない。

令和7年 第3回臨時会

議長・副議長が決まる

第3回五木村臨時議会が8月5日の1日間の日程で開かれ、議案として監査委員の選任1件が上程されました。

今回の臨時会は7月6日に執行された村議会議員選挙後の最初の議会となり、まず議員の仮議席の指定をした後、議長・副議長の選挙を行いました。

議長の選挙は、投票の結果、早田吉臣議員が議長に当選し、副議長の選挙では議長の指名推薦により田山淳士議員が当選しました。

その後各常任委員会の委員の選任、議会運営委員会の委員の選任、広報委員会委員の選任のほか人吉球磨広域行政組合議会議員や人吉下球磨消防組合議会議員の選挙を行いました。

各常任委員会委員では総務常任委員会委員に中村俊也委員長他3名、経済常任委員会委員に西村久徳委員長他3名を選任しました。

また議会運営委員会委員には中村俊也委員長他3名。広報委員会委員では黒木一秀委員長他3名をそれぞれ選任しました。

人吉球磨広域行政組合議会議員には西村久徳議員と園田久議員を、人吉下球磨消防組合議会議員には中村俊也議員を選出しました。

今回議案として上程された監査委員の選任は、議会選出の監査委員の任期満了に伴うもので監査委員として豊永勝彦議員を選任しました。

五 木 村 議 会 構 成

議長	副議長
早 田 吉 臣	田 山 淳 士

議員任期：令和7年8月4日～令和11年8月3日

◎：委員長 ○：副委員長

総務常任委員会委員					
◎	中 村 俊 也	○	黒 木 一 秀	早 田 吉 臣	豊 永 勝 彦

経済常任委員会委員					
◎	西 村 久 徳	○	中 村 弘 信	田 山 淳 士	園 田 久

議会運営委員会委員					
◎	中 村 俊 也	○	西 村 久 徳	田 山 淳 士	黒 木 一 秀

広報委員会委員					
◎	黒 木 一 秀	○	園 田 久	中 村 弘 信	豊 永 勝 彦

人吉球磨広域行政組合議会議員		人吉下球磨消防組合議会議員		(議選)監査委員	
西 村 久 徳	園 田 久	中 村 俊 也		豊 永 勝 彦	

一般会計補正予算に 1億2,340万8千円を追加、 総額42億3,743万7千円とする 補正予算を可決

9月
定例会

令和7年第3回定例会が9月10日から12日まで開催。報告2件、人事案件1件、条例等の一部改正1件、補正予算5件、決算認定審査10件の合計19件が上程されました。

報告は令和6年度財政健全判断比率、令和6年度公営企業資金不足比率については監査委員の意見を付して報告されました。

人事案件は、教育委員に山本豊氏の再任を承認しました。

条例改正の「職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正」は、育児時間の取得パターンの多様化、仕事と育児の両立支援制度の利用に関する職員の意向確認等勤務環境の整備をおこなうため改正されました。

令和6年度決算認定は、決算審査特別委員会を設置。委員長に田山議員、副委員長に黒木議員を選出して審議することを決定しました。

また、川辺川ダムおよび五木村の再建を審議する場として「川辺川ダム対策再建特別委員会」が設置され、委員長に田山議員、副委員長に西村議員を選任しました。

このほかに6月定例会で総務常任委員会に付託されていた「人吉球磨准看護学院へのさらなる支援について」の請願については、中村俊也総務常任委員長から報告を受け、全会一致で「趣旨採択」しました。

【一般会計補正の主なもの】

総務費	
企業誘致に伴う関連調査業務委託料	550万円
民生費	
高齢者住宅バリアフリー化リフォーム補助金	50万円
衛生費	
保健福祉総合センター修繕料	91万1千円
地区簡易給水施設（山口・竹の川）修繕料	166万4千円
商工費	
温泉施設新築設計業務委託料	800万円
消防費	
デジタル防災行政無線非常用蓄電池更新工事	983万9千円
Jアラート受信機更新業務委託料	440万円
災害復旧費	
林道災害復旧費	3,000万円
村道災害復旧費	3,110万円

特別委員会編成

決算認定審査特別委員会	
委員長	田山 淳 士
副委員長	黒 木 一 秀
委 員	全 議 員

川辺川ダム対策再建 特別委員会	
委員長	田山 淳 士
副委員長	西村 久 徳
委 員	全 議 員

— 第3回定例会 議案審議の結果 —

賛成…○ 反対…× 欠席…欠

議案名	田山淳士	黒木一秀	西村久徳	中村弘信	園田久	中村俊也	豊永勝彦	審議結果
議案第44号 教育委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	原案承認 全員賛成
議案第45号 職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間休暇等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第46号 令和7年度五木村一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第47号 令和7年度五木村ダム対策事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第48号 令和7年度五木村介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第49号 令和7年度五木村情報通信事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第50号 令和7年度五木村簡易水道事業企業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成



新しく建築される温泉館のイメージ図



村道葛ノ八重線災害現場

都市と山村の格差是正に力を

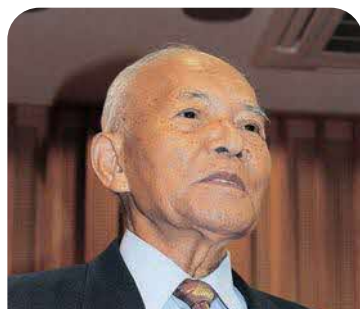
木下村長 振興計画に基づいて着実に進める。

都市と山村の格差是正について

議員 日本は戦後80年を迎え時代は大きく進み変化してきた。国民の勤勉と努力によって豊かで平和な国となり、五木村の山村においてテレビ等で世界中の出来事がわかるように文明が開かれた。

しかし、時代の進展とともにひずみも出ている。特に若者が都会へ流れ農山村は高齢化と過疎化が急速に進み、村の存亡が危ぶまれる現状だ。若い人を呼び込む対策は。

村長 若者が集まる「ひかり輝く」新たな五木を作る基本理念を掲げている。村内外の方がヤマメやうなぎの養殖、キャンプ場もやっている。



西村 久徳 議員

林業振興について

議員 五木村は96%が山林だ。先人たちがこの膨大な山林を立派に育ててきたが、これからもさらに立派に育てていかなければならない。それには山を育てる若者が必要だが、その人材確保はどうか。

土肥博司産業振興課長 林業は国土保全面で国・県も強力に進めている。人材確保の方法としてネパールから2人の実習生が3年間の予定で今年から入っている。

県道宮原五木線の根本的な改良について

議員 この県道は、五木村の主要道として重要な県道だ。去る8月八代人吉間が行止めとなり、宮原五木線が大活躍した。本格的な改良はいつ頃か。

村長 村民からも要望があり、県も近いうち説明をするという。

小中学校一貫教育について

議員 いよいよ来年度から一貫教育が計画されているが村民の中には150年の歴史と伝統ある母校、東小学校がなくなることは実に寂しい、複雑な気持ちを持つ方もいる。しかも3334名の方が学び立ち愛着のある母校である。住民によく説明すべきではないか。

山尾浩二教育課長 基本的に説明会は開催していないが、地域座談会の中で説明している。

議員 一貫教育は子供が少ないうから、他の市町村がやるからやるのか。

教育長 現在、小中合わせて32名。小規模で効果が上がる手段として小中一貫教育がベターである。

議員 現在の校舎の活用はどうするのか。五木村の活性化に最大限寄与する取り組み

はないか。
教育課長 現在、庁内で色々と検討している。



利活用を検討する五木東小学校

防犯カメラの設置について

議員 最近各地で窃盗・殺人と多発している。田舎だからと言って油断はできない。カメラの設置の助成はどうか。
竹村文秀総務課長 近々、そのような助成も考えている。

清流川辺川を将来に残していけるよう努力してもらいたい

木下村長 同感である。国・県にもお願いしながら努めていく。



黒木 一秀 議員

議員 川辺川の流水型ダムについてどう考え認識を持っているか。

村長 平成20年の蒲島知事のダム白紙撤回から令和2年の大災害まで、球磨川全体の河川整備計画ができていなかったが、今回流水型ダムを作ることで河川整備計画が策定され、五木村の安全安心を進めていただくと認識している。

議員 流水型ダムを前提とした村づくりを表明されたが、村民の意見を聞く機会、丁寧な説明が必要でなかったか。表明は時期尚早でなかったか。

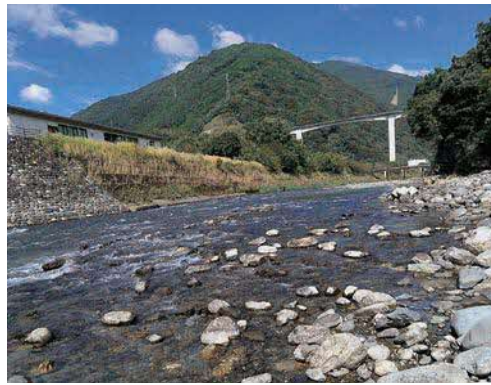
村長 令和5年度に新たな五木村振興計画を策定し、早くしないと前に進まないという危機感があった。県が財源の支援等も明言したので総合的に判断した。時を得た判断だと思っている。

議員 流域の安全安心を守るためにはダムはどうしても必要、他に方法はないと考えているのか。

村長 ダム以外で洪水を防げるという知見は持っていない。災害に直結したものについてダム以外は考えられない。

議員 この清流川辺川を将来に残していく考えはないか。

村長 清流川辺川を未来へ残していくということは同感である。国・県にもお願いしながら努めていきたい。



ひかり輝く新たな五木村新興計画について

議員 ひかり輝く五木村にするためには、高齢者の方々に

始め地域の人たちの声を地域に入って、きめ細やかに聞くこと。それを少しでも振興計画に取り入れる考えはないか。

村長 区長会で地元の声や意見を届けていただくように努めている。高齢者の方や一人暮らしの方等が不便なく生活できるように、社会福祉協議会等から意見ももらい取り組んでいる。

議員 移動販売事業を展開するにあたっては地域の商店を活用した移動販売、取り組みを検討していくのか。

土肥博司産業振興課長 地域からの要望を踏まえて、実証実験として変更しながら利用しやすいようにしていく。

議員 人吉球磨管内への通院タクシーの助成は考えられないか。

高田孝浩保健福祉課長 村外への通院については、今後高齢者の経済的負担の軽減も含めて、利用しやすい交通体系の検討を進めている。

安全安心な地域づくりについて

議員 県道久連子落合線は重要な生活道路であるが、改良が進んでいない。早急に取り組んでいただくよう県に強く要望する考えはないか。

村長 地元からは特に離合箇所を整備してほしいという要望があった。振興局では4カ所の整備を計画していると聞いている。

議員 高齢化、人口減少により地域の給水施設の維持管理が難しくなる場合もあり、将来どうしていくのか。

黒木光重建設課長 給水施設については施設の老朽化も併せて、高齢化でも管理しやすいような施設に改良・改修してほしいという声にこたえていきたい。

山村留学について

議員 山村留学について教育委員会はどうか考えているか。

山尾浩二教育課長 山村留学についてはメリットが大きいのではないかと考えている。今後、東小学校の利活用も含めて検討していければと考えている。

平場造成について

木下村長 企業誘致や住宅の用地など今後の利活用を踏まえて造成する。



平場造成について

議員 五木村東地区まちづくりグラウンドデザイン協議会では、最大20ヘクタールの平場の造成が計画されている。先日行われた行政座談会では、住民から平場の利活用について要望があったか、もし具体的な要望がない場合、造成する必要があるのか。

村長 座談会では平場の面積についての意見はあったが、利活用についての要望はなかった。現時点で要望はなくても企業の誘致や住宅の用地などの今後の利活用も踏まえ平場の造成を行っていく。

獣害対策について

議員 頭地の住宅地では夜になると鹿が現れ、庭の植え込みや菜園が荒らされるなどの被害が出ている。銃の発砲が制限される住宅地では罠の設置しか駆除方法がないが、現時点で効果が上がっていない。猟犬での追い込みは追われた鹿が住宅地に逃げ込み、住宅の破損や人に危害を及ぼすなど被害が拡大するリスクがある。頭地に限らず村内の各地で起こる獣害についてどのような対策をしているのか。

土肥博司産業振興課長 先月の区長会では鳥獣被害対策実施隊の連絡先を周知した。これにより免許を持たない住民が駆除を依頼する連絡方法を確保した。現状では、罠の設置が唯一の対策である。しかし今後の対策として被害防止計画を熊本県に提出しており、随時効果的な方法を調査・検討していきたい。

議員 現状では、即効的な対策は難しいようなので、こちらからも続けて調査し、対策や費用の概算を提示提案していく。



罠にかかった鹿

ダム対策課の名称について

議員 ダム対策課の業務として地域振興や統計などが含まれるが、現状の名称だと業務が分かりづらいとの声を聞く。名称を変更できないか。

竹村文秀総務課長 ダム事業が一区切りつくまでは変更する予定はない。住民に分かりやすく伝える手段は検討するが、現状では各課看板の下に表記した業務を見てご確認いただきたい。

議員 他の町村では総合案内や案内係の配置を見かける。村内にも取り入れられないか。

村長 他の町村での案内係の半数はボランティアによるものである。そのため人手不足の五木村での導入は難しいが、今後は視野に入れて検討していく。

青年団について

議員 30年前青年団に参加していたが、あの時の活動が今でもためになったと感じている。今の五木では若者の交流の場が少ない。若年層の活性化のためにも青年団の復活や場の提供ができないか。

村長 自身も過去に同じく青年団に加入しており、若者が活躍する場の提供に賛同する。まずは1日だけでも若者を対象としたイベントを開くことを検討している。



議会の動き（4月～9月）



4月 1日 教職員辞令交付式（岡本議長）
いつき保育園入園式（岡本議長）

2日 定例議員全員協議会（全議員）
広報委員会（全委員）

8日 五木中学校入学式（全議員）

9日 五木東小学校入学式（全議員）
人吉高校五木分校入学式（全議員）
広報委員会（全委員）

10日 定例郡議長会議（岡本議長）

13日 第8師団創隊記念式典（熊本市）（中村副議長）

14日 消防組合監査（川邊議員）
川辺川ダム対策調査特別委員会（各委員）
広報委員会（各委員）

22日 例月監査（田山監査委員）

23日 広報委員会（全委員）

24日 戦没者追悼式（岡本議長）

5月 7日 定例議員全員協議会（全議員）
13日 Jクレジット調印式（岡本議長）

14日 定例郡議長会議（岡本議長）

15日 臨時全員協議会（全議員）

16日 球磨郡監査委員連絡協議会総会（田山監査委員）

17日 保小中高合同運動会（各議員）

19日 九水連総会（人吉市）（岡本議長）
消防組合臨時会（川邊議員）

20日 九水連現地研修（岡本議長）

21日 広域行政組合議会運営委員会（田山・西村議員）

22日 例月監査（田山監査委員）

27日～28日 全国町村正副議長研修会および国会要望
（東京）（岡本議長・中村副議長）

29日 国土交通省要望活動（東京）（全議員）

30日 県知事要望活動（熊本市）（全議員）

6月 2日 防災会議（岡本議長）
3日 議会運営委員会（全委員）

町村議会議長会臨時総会（熊本市）（岡本議長）

4日 定例全員協議会（全議員）

6日～8日 東日本ふるさと会（東京）（岡本議長）

10日～12日 第2回議会定例会（全議員）

20日 五木五家荘県立自然公園協議会総会（岡本議長）

23日 定例郡議長会（岡本議長）

例月監査（田山監査委員）

24日 入鴨砂防堰堤現地視察（全議員）

26日 防犯協会評議員会（岡本議長）

7月 6日 五木村議会議員選挙

10日 川辺川ダム建設促進協議会・三期成会合同
会議（岡本議長）

14日 定例郡議長会議（岡本議長）

22日 臨時全員協議会（全議員）
正副委員長研修会（全議員）

23日 例月監査（田山監査委員）
県道五木湯前線など期成会総会（岡本議長・川
邊議員）

29日～9月4日 決算監査（監査委員）

8月 4日 議員懇談会（全議員）
5日 第3回臨時会（全議員）
臨時全員協議会（全議員）

8日 下球磨町村議会正副議長会総会（錦町）（早田議
長・田山副議長）

12日 川辺川砂防促進協議会（早田議長）

18日 総務常任委員会（全委員）

20日 正副議長研修会（熊本市）（早田議長・田山副議長）

21日 例月監査（豊永監査委員）

25日 消防組合定例会（中村俊也議員）

27日 定例郡議長会議（早田議長）

広域行政組合定例会（西村・園田議員）

9月 3日 議会運営委員会（全委員）
定例全員協議会（全議員）

5日 広域行政組合特別委員会（西村・園田議員）

10日～12日 第3回議会定例会（全議員）

12日 国県事業説明会（全議員）

14日 敬老式典（全議員）

22日 定例郡議長会議（早田議長）

例月監査（豊永監査委員）

24日 川辺川ダム対策再建特別委員会（全委員）

広報委員会（全委員）

29日～30日 行政組合視察研修（西村・園田議員）

やひろ
めぐみ
八尋 恵さん（下谷地区）

自己紹介

わたくし、生まれも育ちも東京です。人呼んでフーテン……ではありませんが、酒好きの気楽な三十代です（笑）。去年の夏に移住し、夫と猫と楽しく暮らしています。

現在は、WEBサイト制作を中心に、チラシ・名刺などのデザインや、画像の加工・動画編集をしています。デザインのこと、お気軽にご相談ください。



五木村での過ごし方

猫に邪魔をされながら、自宅でPC作業をしています。身体が凝るので、休憩するときは自宅周辺の木陰を散歩しています。

休日の夜は、野生動物探索のためドライブをするのが楽しみです。たぬき

が好きなのですが、いまだ出会えていないのが悔しい……。

五木村に住んでみて

浴室に大きな窓があり、山を眺めながらゆっくり湯につかれるのが気に入ります。

コミュニティが狭い分、はじめてお会いする方でも、名乗ると私のことをすでに知っていることが多く、自己紹介が省けて助かっています（笑）。

村や議会にのぞむこと

【夢唄に、マイナンバーカード対応コピー機の設置】

いままで、住民票などの取得はコンビニのコピー機でした。社会人は平日の来庁が難しいので、とても便利なサービスです。コピー機の設置が難しい場合、マイナンバーの対応だけでも導入を希望いたします。若年層の移住者増加を目指して、便利なサービスの導入をご検討お願いいたします。

【道の駅の「ミニ箱」の拡充】

景色が美しい五木村ですが、道端に

ゴミが投棄してあることが目につき悲しく思っています。住民の行為なら周知で済みますが、投棄するのは村外の方々です。看板を設置したところで意味はありません。高速道路のPAでは、大量のゴミ箱を設置することで全体の景観・衛生面が保たれています。観光地として、

移住先として発展を目指すのなら、村の予算から景観維持費として計上し、人が少ない今の段階で環境を整備するのはいいかがでしょうか。



道の駅にゴミ箱を

【議会のみなさまへ】

五木村の未来のため、代表となり議論されている皆さまのことを強く尊敬し、応援しています。これから寒くなりますので、ぜひご自愛ください。

議員紹介



議長 早田 吉臣

議長に選出され村民の期待に応える責任の重要さを更に認識し身が引き締まる思いです。村民の声を大切に議員の意見を尊重してまいりますのでご指導ご鞭撻よろしくお願いいたします。



副議長 田山 淳士

新大通りトンネル開通の実現を目指して頑張ります。「地域のために、あなたのために、有言実行」を信条として頑張ります。



黒木 一秀

村民のための議員活動に努め、村民の皆様とともに安心して暮らし続けられる村づくりに邁進してまいります。



西村 久徳

本村は下流域を災害から守るため、計り知れない犠牲損失を受け、少子高齢化が進み、厳しい時代です。村の再建に向け、頑張る決意です。



中村 弘信

五木村も少子高齢化の中、村民の皆さんが安心安全で楽しい生活ができる様に村民の声を村政に活かしたいと思います。



園田 久

五木村の主産業である農林業の6次産業化に向け努力してまいりますのでよろしくお願い致します。



中村 俊也

議会運営委員長として皆様の声に寄り添った議会の充実、実りある協議の実現を目指し尽力する所存です。宜しくお願いします。



豊永 勝彦

未来の五木村に向けた、産業の振興等をひとつずつ着実に前へ進めるため、行政と共に取り組んでまいります。

五木村議会広報委員会

委員長 黒木 一秀
副委員長 園田 久
委員 中村 弘信
委員 豊永 勝彦

次回の定例会は12月中旬の予定です。
皆様の傍聴をお待ちしております。



議員となつて約3ヶ月、まだまだ学ぶことも多く、皆様のご意見をいただきながら、少しでもより良い「議会だより」になるよう日々努力していきたいと思っております。
皆様からのご意見をお待ちしております。

黒木 一秀

つぶやき

秋も深まり早いもので、今年ももう残り2ヶ月となりました。村民の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

7月の村議会議員選挙における改選により、議会の構成が変わり、今回から新人議員4人が広報委員として、議会だより「やまめ」を担当することになりました。

表紙題字：故 尾方 芳郎氏